

導入製品 AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)

2023年12月導入

議事録作成時間を1~2時間以上短縮 スタンドアローンで情報漏洩リスクが 低く、ライセンス管理もしやすい



※ 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2023」

導入のポイント

課題

1時間の会議の議事録作成には約3~6時間を要し、手間と時間の削減が課題となっていた。

議事録作成の効率化において、機密情報が外部に漏れないようにすることも重要なポイントだった。

効果

文字起こし作業の手間が減り、議事録作成までの時間が1~2時間以上短縮された。

スタンドアローンで音声認識を行うため、外部に音声データや文字起こし結果を出さず、情報漏洩のリスクが低い。

Customer Profile



地方独立行政法人
栃木県立がんセンター
Tochigi Cancer Center

地方独立行政法人栃木県立がんセンター様
所在地：栃木県宇都宮市
理事長/センター長：尾澤 巖
職員数：441名(2024年3月時点)
従業員数：約740名(2024年11月時点)

議事録作成の手間と時間の削減が課題

栃木県立がんセンターでは、毎月多くの会議や委員会が開かれます。これらの議事録を作成するためには、主にICレコーダーで録音した音声を何度も聞き返し、発言や議論の内容を専門用語も含めて理解しながら書き起こし、まとめる作業が必要です。そのため、1時間の会議の議事録作成には約3~6時間を要し、手間と時間の削減が課題となっていました。



効率化に向け、文字起こしの自動化に着目

この課題を解決するために、音声を自動的に文字起こしするツールの導入を検討しました。このツールを利用すれば、音声の聞き返しとテキスト入力作業の手間が削減でき、議事録の作成が効率的に行えると考えました。

機密性を最重視。認識精度や機能性も評価

議事録作成の効率化において、機密情報が外部に漏れないようにすることも重要なポイントでした。しかし、音声認識サービスはクラウド型が多く、完全な機密情報の保護は難しいと感じていました。そこで、「AmiVoice ScribeAssist」の存在を知り、スタンドアローンで音声認識を行うため、外部に音声データや文字起こし結果を出さず、情報漏洩のリスクが低いと感じました。また、USBキーによる物理的なライセンス管理が可能であるため、情報漏洩対策と効率的なユーザー管理を行えると感じました。

さらに、トライアルした際には文字起こしの精度が高く、テキストと音声をリンクしてピンポイントで再生できる機能も有用だと判断し、導入を決定しました。



議事録作成時間を1～2時間以上短縮

導入後、すぐに多くの利用希望の声が挙がりました。主な利用目的はICレコーダーで録音した音声ファイルの文字起こしであることから、文字起こしの重要性和その苦勞を再認識しました。実際に利用した職員からは、文字起こし作業の手間が減り、議事録作成までの時間が1～2時間以上短縮されたとの声が寄せられました。

また、リアルタイム認識の利用を希望する声も増えており、どの程度効率化が図れるのか効果測定を行いたいと考えていますが、大きな効果が期待できると考えています。



マイクの活用で音声認識精度が向上

音声認識精度を向上させるために、YAMAHAのYVC-1000を導入しました。これにより、自由に発言が交わされる会議でも明瞭な集音が広範囲で実現できるので、音声認識精度が向上しました。また、当センターではUSBキーの管理をグループウェアで行っています。予約の取り合いが今後の課題になると予想しており、今後の動向を見てUSBキーの追加も検討していきたいと思っています。



自動要約機能の利用も検討中

現在、自動要約機能についても機密性の高い内容を除いて試用しています。要約の精度や使用感などを評価しながら導入を検討していきたいと思っています。

導入実績

民間企業・団体 **1400** 件以上

金融

- オリエンコーポレーション
- オリックス生命保険
- さわか信用金庫
- 湘南信用金庫
- 大同生命保険
- 東日本銀行
- 福井信用金庫
- みずほ銀行
- 三井住友銀行
- 明治安田生命保険相互会社
- 横浜銀行
- りそな銀行

化学

- ポーラオルビス・ホールディングス
- 三菱ガス化学
- UBE

公共インフラ

- NTTコミュニケーションズ
- コスモエネルギーホールディングス
- 四国電力
- 全日本空輸
- 東日本旅客鉄道

建設

- 飛島建設

報道機関

- 仙台放送
- 十勝毎日新聞
- 日本テレビ放送網
- フジテレビジョン

医療

- 会津中央病院
- 稲沢市民病院
- 日本赤十字社
- 日本超音波医学会

JA

- 全国共済農業協同組合連合会
- 仙台農業協同組合
- とびあ浜松農業御協同組合
- 飛騨農業協同組合

中央省庁

- 経産省
- 内閣府
- 財務省
- 防衛省

その他

- アスクル
- And Do ホールディングス
- セイコーグループ
- 西武ホールディングス
- 日本テレワーク協会
- びあ
- 本田技研工業
- LIXIL

2023年12月末現在

製品情報

●AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)

音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。

スタンドアロン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。

ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる手間を大幅に削減します。



製品情報



(販売代理店)

(開発・発売元)



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア
VoXT (ボクスト) 事業部

〒170-6042

東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F

URL : <http://www.advanced-media.co.jp/>

Mail : voxt-info@advanced-media.co.jp



10820562(06)

※弊社は(財)日本情報処理開発協会により、個人情報保護に適切に取り組んでいる事業者であることを示す「プライバシーマーク」の付与認定を受けています。